

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

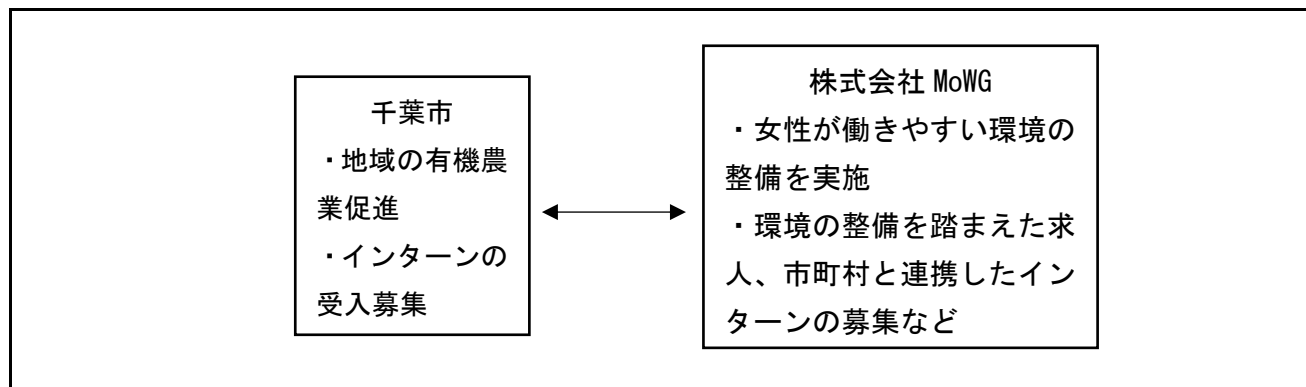
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	株式会社MoWG	
所在地	千葉市花見川区畑町87	
代表者	山下大輝	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：有機小松菜、有機ほうれん草、キャベツ、ネギなどの生産・販売・ 従業員数：10名・ 経営規模：千葉市内約4ha・ 農業関連事業：体験農園事業、農業転職者向けゼミ・ 離職率低下を目的とした既存の取り組み <ol style="list-style-type: none">① 年間変形労働制の採用による毎月の給与の安定② 出産・育児休暇③ 週休完全2日休み、変形労働など自身のライフスタイルにあった働き方の自由選択性④ 識学による人事評価・等級などの実施	女性農業者の 人数：5人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

<p>【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大に伴い積極的に女性の採用を行う予定。東京・千葉エリアのベットタウンであることから特に働く母親世代の応募が正社員・パートともに一定割合であるので女性が働きやすい環境を整備することで雇用の確保が見込める。 ・東京などの大都市圏から非常にアクセスが良いため若い世代の女性からの応募もあるがトイレ、福利厚生、給与などの面から選考途中で辞退されることも多い。 <p>【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の半数の5名が女性 ・圃場内にトイレはなく近隣の公園のトイレを利用しているが利便性・衛生面から以前からトイレ設置の希望が多く、従業員のストレスになっている。 <p>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の取得、土日完全休みなど、シフト希望日100%休みなどソフト面で取り組めることはすでに行っているがコストがかかるトイレや更衣室などハード面での対応ができていない。本事業をで男女別トイレの設置を行いハード面での女性の働きやすさの向上にも取り組むことで働きやすい環境の整備を行っていく。
--

(注) (2)、(3) の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他						備考
	区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業者(注2) の人数	事業費 (千円) 国庫補助金	
① 男女別 トイレ	R5年 5月	畑町本社 倉庫付近	1	5人	1,727,000	1,727,000	
計			1	5人	1,727,000	1,727,000	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、

アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。(3)において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画(実績)

取組区分	①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他						
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する女性農業者の人数	事業費(千円)		備考
						国庫補助金	
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
<p>実施済み</p> <p>5月</p> <p>7月</p> <p>11月</p>	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>当社では農業人口を増やし、ミスマッチを減らすため下記の取り組みを実施または実施予定である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休・育友制度 ・識学を通じた公平な人事評価体制の取り組み ・SNSを通じた農業の魅力発信 ・体験農場を通じて農業に接する機会を増やす取り組み ・新規就農者のミスマッチを減らすための農業転職ゼミの開講 ・県の有機農業研修の受け入れ ・千葉市との大学生インターンの受け入れの共同実施 <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>当社では2018年の創業以来毎年規模を拡大し、新規就農者の採用を行っている。現在も小松菜・ほうれん草などの収穫作業は女性従業員が大半を行っており、今後も女性の採用を増やしていく予定である。</p> <p>また、農業人口を増やす取り組みとしてインターンの受け入れ、農業転職ゼミなどを行い農業の普及活動をおこなっていく。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>アグリナビでの採用活動</p> <p>定期的な女性社員のためのミーティング</p> <p>新農業人フェア参加</p> <p>千葉市とのインターン募集</p> <p>識学を取り入れた人事評価・等級制度の導入</p>	<p>目標】</p> <p>インターン受入5名</p> <p>採用面接10名</p>

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	2 人
	事業実施翌年度	2 人
	合計	4 人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、 アルバイト等 2 人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）
【事業実施年度】 （取組予定業務）小松菜・ほうれん草の収穫 （採用時期） 令和5年8月 （人数） 2名
【事業実施翌年度】 （取組予定業務）小松菜・ほうれん草の収穫 （採用時期） 令和6年8月 （人数） 2名

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。